

## 静岡大学地学研究報告"地学しずはた"発刊に際して

著者	鮫島 輝彦
雑誌名	静岡大学地学研究報告 : 地学しずはた
巻	1
号	1
ページ	none-none
発行年	1967-12-25
出版者	静岡大学地学教室
URL	<a href="http://doi.org/10.14945/00005767">http://doi.org/10.14945/00005767</a>

## 静岡大学地学研究報告“地学しずはた”発刊に際して

昭和24年6月新制大学として発足した静岡大学においては、昭和26年秋迄に文理学部、教育学部、農学部の地学担当教官6名がそろい、研究活動の上では三つの学部に分散している地学教官が出来るだけ一体となって進んで行きたいと考え、研究発表の機関雑誌「地学しずはた」が刊行された。

「地学しずはた」の名は静岡市大岩の校地の西に重なる粗面岩の丘の名にちなんだものである。従来の「地学しずはた」は、学生をつくる静岡大学地学研究グループと、卒業生をつくる地学しずはた後援会の出資により、年3回発行を続け昨年迄に36号が出版された。創刊当時はガリ版刷りの不体裁なものであったが、第9号より孔版印刷、第34号よりはタイプオフセット印刷となり立派な雑誌に成長した。しかしそれに伴って出版経費も増加し、従来の方式では出版を継続することが困難となるに至った。

今回「地学しずはた」を静岡大学地学教室（理学部、教育学部、教養部、農学部連合）研究報告として再発足させることとした。教室費用（校費）出版であるから、従来の刊行とは性格が異なり、卒業生に会費販付することなどは出来ないが、従来「地学しずはた」をお送りしてきた国公立研究機関などえは引続き贈呈が出来る。

新しい「地学しずはた」は従来のシリーズと区別するために巻号制を採用し、1年1巻として年3回発行を原則としてすすめたい。

なお現在の教室陣容は下記の如くである。

理 学 部	教授（学部長）	桐 谷 文 雄
	助 教 授	土 隆 一
教 育 学 部	教 授	竹 内 正 辰
	助 教 授	岩 橋 徹
	助 手	黒 田 直
	教室付職員	半 田 孝 司
農 学 部	助 教 授	加 藤 芳 朗
教 養 部	助 教 授	鮫 島 輝 彦
	専 任 講 師	伊 藤 通 玄
	教室付職員	大 塚 佐 代 子

（鮫島輝彦 記）